



追悼文 Gary Douglas Webb 先生

成人先天性心疾患の創始者の一人であり、この分野を広く発展させてきた Dr. Gary Douglas Webb 先生が 2021 年 10 月 19 日にご逝去されました。心から哀悼の意を表します。

Gary Webb 先生の経歴などについては、多くが語られていますので、ここでは私の知っている範囲での Gary Webb 先生について書かせていただき追悼としたいと思います。

先生は、1943 年にモントリオールで生まれ、McGill University を卒業後、1960 年後半から長い間 Toronto General Hospital に勤務されました。先生は、Toronto General Hospital に隣接している Toronto Children's Hospital の先生方とチームを組んで、Adult Congenital Heart Disease (ACHD) Program を創設し、ディレクターとなっています。それは 1986 年とされており、Royal Brompton の Jane Sommerville 先生、UCLA の Perloff Joseph K 先生について、世界で3番目に ACHD 専門診療部門を開設したことになっています。しかし、ご本人に伺ったところでは、すでに 1970 年代前半から ACHD に大きな興味を持ち、ACHD 専門外来を開始していたので、Toronto が一番古くから診療を開始したと思っていると、先生らしく控えめにおっしゃっていました。とても

印象的でした。その頃から2004年までは Toronto General Hospital の ACHD 部門のディレクターを続けていらっしゃいました。カナダ国内では、Canadian Adult Congenital Heart (CACH) Network を創設し、カナダで ACHD 診療を行う施設同士をうまくまとめています。また、1994年には Perloff 先生ら主要な ACHD 診療施設の仲間と International Society for Adult Congenital Heart Disease (ISACHD) を創設し、初代の president となりました。世界各国の ACHD 診療を行う施設との情報交換、教育などを進めていきました。ISACHD は、現在でも活発に活動を行っています。同時期に、Oregon Health & Science University と共同で、Annual International Symposium on ACHD という ACHD 診療を目指す若い先生方の教育を中心としたシンポジウムを開始しました。この会はその後、主催地として Cincinnati, Philadelphia なども含んで、現在も、北米以外の参加者も含めて広く教育に貢献しています。また、1996年には、ACHD 分野では世界で最初の診療ガイドラインである Canadian Consensus Conference on Adult Congenital Heart Disease 1996. を共同で執筆しています。1998年に私は Gary Webb 先生のもとに3ヶ月ほど留学する機会をいただきました。先生の親身に診療する姿勢、幅広い ACHD の知識というだけではなく、多職種診療、こども病院との連携など ACHD team 全体をうまくまとめられているという印象を強く持ちました。それがこの分野を発展させる秘訣だと。また、ACHD 診療を目指す若い医師や医療関係者の教育指導も熱心で、しかも自主性を活かすようにうまく運営されている点も感銘を受けました。このことが、先生の個人的な魅力だけではなく、この分野を世界的にも広げていき、若手を教育し、仲間を増やしていく秘訣なのだと確信しました。その後も、先生は、pioneering spirit にあふれて活発に活動され、2001年には、ACHD 分野の top runner たちと共同で、ACHD の診療や診療体制の構築などを解説した Task force: adults with congenital heart disease: を JACC に報告されました。また、ACC/AHA 2008 guidelines for the management of adults with congenital heart disease: や ESC Guidelines for the management of grown-up congenital heart disease など欧米の学会から報告された ACHD 診療ガイドラインに参画されています。この間、日本成人先天性心疾患学会が研究会の創設から学会に移行する過程では、先生から多くのアドバイスをいただき、学会の発展に多大な貢献をしていただきました。本当に感謝にたえないところです。2004年には、日本成人先天性心疾患学会学術集会(東京)に参加していただき、教育講演とともに多くのご指導をいただきました。2013年には、日本循環器学会学術集会(横浜)で、講演をしていただき、ACHD に興味を感じ始めていた若手循環器科医への大きな刺激となりました。日本滞在中には、大相撲、歌舞伎、鎌倉散策など楽しんでいただきました。相撲は特にお好みのご様子でした。その後、ご家族の都合もあり、2004年にトロントから、ペンシルベニア大学の ACHD 部門のディレクターに移動、ついで、2009年に Cincinnati Children's Hospital に移り ACHD プログラムを立ち上げました。このときに、Heart University に ACHD Learning Centre と

Congenital Heart International Professions' (CHiP) Network を立ち上げました。これは web を中心とし、定期的に ACHD 関連文献、ACHD 関連学術集会の紹介などを行う、ACHD 教育プログラムで、広く世界中に network が広がり、ACHD の教育に多大な貢献をしています。日本成人先天性心疾患学会 もこの network に参加しています。2017 年には再びトロントに戻られて、ACHD 診療や教育に携わられておりました。一方で、このように非常に多忙な日々を送られている中でも、ご家族との食事、旅行、会話をとても大切にされる先生でした。

Gary Webb 先生は、広く世界的に ACHD 分野で数多くの多大な貢献をされています。日本でも成人先天性心疾患学会と日本循環器学会に参加し、講演や若い先生との対話をされるなど大きな貢献をなされています。先生の残した医師、教育者、研究者、そして開発者、pioneering spirit、さらに ACHD 分野に対する大きな夢は、後輩たちに確実に引き継がれて行くことと確信いたします。先生は、ACHD 分野の将来のあり方を我々に教えてくれました。Gary Webb 先生の残した循環器、特に ACHD 分野、本学会に対する多大な貢献に本当に心からの感謝を申し上げます。

Gary Webb 先生のご逝去を悼み、謹んでお悔やみを申し上げます。

一般社団法人日本成人先天性心疾患学会
顧問 丹羽 公一郎

